

簡単な3ステップで FTIR 分析が迅速かつ シンプルに

Agilent MicroLab 5.7 ソフトウェア

Agilent FTIR 分光光度計を 最新版の MicroLab ソフトウェア にアップグレード

Agilent Cary 630 FTIR 分光光度計 とモバイルおよびハンドヘルド FTIR システム用の Agilent MicroLab ソフトウェアを、最新版にアップ グレードしていただく絶好の時です。



Cary 630 FTIR

4500 可搬型 FTIR

4300 ハンドヘルド FTIR

サンプリングから結果取得まで、ワークフロー全体に対応するソフトウェア

直感的で使いやすい MicroLab ソフトウェアには、わかりやすい画像付きでステップごとのガイダンスが用いられており、 分析ワークフロー全体で簡単に操作できます(図 1)。



図 1. Agilent MicroLab ソフトウェアと Agilent FTIR 分光光度計によるシンプルな 3 ステップで簡単に分析を実行し、 トレーニングの必要性を低減できます。



新機能のご紹介:

新しいスペクトル結果ウィンドウ

ピークのラベリング、データの確認、スペク トルのレポート作成が、これまで以上に便 利になり、さらに短い時間で実行できます (図 2)。

- 新たに開発された現代的なデザインの スペクトル処理ウィンドウ
- 既存のワークフローに完全統合
- 注目したい波数範囲においてスペクトル を拡大表示させることが可能



図 2. Agilent MicroLab ソフトウェアは、レポート作成機能に加えて、赤外線スペクトルの収集、確認、再分析に 対応しています。

MicroLab Expert モデルのインポート

MicroLab ソフトウェアは、複雑な FTIR 分 析でも、高度なデータ解析をシンプルかつ迅 速に処理します。

- Agilent MicroLab Expert ソフトウェアで 開発された包括的なケモメトリックス予 測モデルの使用に対応しました(図3)。
- 直感的で分かりやすいガイダンスを引 き続き測定ワークフロー全体で利用 でき、バックグラウンドではパワフルな MicroLab Expert 予測エンジンが稼働 しています。結果は自動的に表示され ます。



図3. Agilent MicroLab Expert ソフトウェアで開発された包括的なケモメトリックスモデルの使用に対応

メタデータの表示

ワークフローは麻薬検出のアプリケー ションに対応できるよう設計されています (図 4)。

- ライブラリヒットを選択すると、CAS 番号、GHS シンボル、警告フラッグ(規制対象物質)、サンプル概要など、安全および危険に関する明確で実用的な情報が表示されます。
- 化学および初動対応に関する情報を 提供します。
- カスタム情報セクションなどで、現地の 法的状況や処理に関するアドバイスな ど、さらなる詳細情報を確認でき、ユー ザーによる編集が可能です。



図 4.麻薬検出アプリケーションに関連する化学および初動対応についての補足情報が表示されます。編集可能 なカスタム情報セクションでは、さらにユーザー固有のガイダンスを利用できます。

ライブラリ検索での色分け

MicroLab ソフトウェアでは、ライブラリ 検索ワークフローで色分けを利用できます (図 5)。

- ユーザー独自の色分けの制限を設定 できます。
- 結果はヒットクオリティインデックス (HQI)に基づいて色分けされるため、 最も一致するものを簡単に解釈し、識別 できます。



図 5.HQI に基づく結果の色分けにより、信頼度を定義できます。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カストマコンタクトセンタ

0120-477-111 email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、 医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。 本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに 変更されることがあります。

DE15363475

アジレント・テクノロジー株式会社 © Agilent Technologies, Inc. 2022 Printed in Japan, July 28, 2022 5994-5128JAJP

